

報道関係者各位

2011年1月7日

2010年12月の概況及び2010年年間取引高について

2010年12月の1日平均取引高は前月より24.6%減 年間では4.3%減

2010年12月の当社市場の1日平均取引高は、前月比24.6%減の104,162枚と、4ヵ月ぶりの前月比マイナスとなりました。当社で取引高の多い金先物取引(標準)が前月比25.1%減の45,907枚、金ミニが39.8%減の10,142枚、ゴムが26.8%減の14,450枚となったことが響きました。金やゴムが歴史的な高値をつけるものの、高値もみ合い商状で値動きに乏しかったことや、トレーダーがクリスマス休暇に入ったことなどが影響したと考えられます。

なお、2010年1月から12月の年間取引高は、前年比4.3%減の27,636,367枚(金ミニ、白金ミニを除く「標準取引」は5.9%増、金ミニ及び白金ミニの「ミニ取引」は48.6%減)となりました。年間の取引金額(約定総代金)は70,402,036,193,900円となり、前年比24.2%増加しました。

1日平均取引高では2010年8月の8.2万枚から徐々に増加傾向にあります。また、12月末時点の全商品合計取組高は348,032枚(前年末比22,581枚増)となり、リーマンショック前の2008年8月末以来の水準まで回復してきています。

詳細は添付資料をご覧ください。

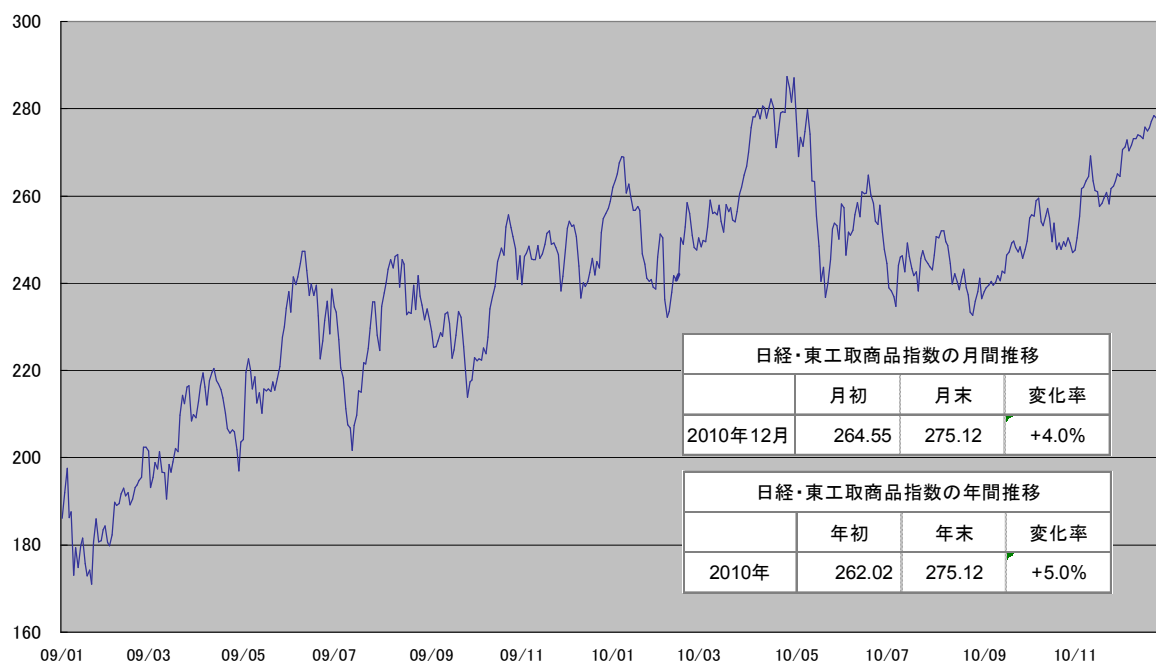
2010年はすべての上場商品が価格上昇 ゴムは30年ぶりの高値更新

2010年は当社の上場商品のうち、比較可能な商品すべてで価格が上昇し、特に、ゴムが30年ぶりの高値更新となったほか、金が27年ぶり高値、パラジウムは前年比80%の上昇となるなど、一部商品で大幅な価格上昇がみられました。

商品	12/30期先帳入値段	前年末からの上昇率
金	3,715円/g	14.0%
銀	81.0円/g	56.7%
白金	4,688円/g	7.0%
パラジウム	2,097円/g	80.0%
ガソリン	59,810円/kl	5.6%
灯油	59,280円/kl	8.5%
原油	46,650円/kl	0.8%
ゴム	414.5円/kg	50.2%

ポイント

日経・東工取商品指数の推移



2011年は年初から大きな制度改革、新制度導入が実施されました

2011年は年明けから、当社及び商品先物業界全体に大きな変化をもたらす重要な制度改革、新制度導入が実施されました。

① 商品先物取引法施行

商品取引所法が改正され、新たに「商品先物取引法」が施行されました。「使いやすい」「透明な」「トラブルのない」市場の実現を目的とした法改正により、国内外及び取引所内外における商品デリバティブ取引を網羅する規制体系が構築されました。

② 損失限定取引の導入

当社市場で「損失限定取引」の取扱いが開始されました。法令により2011年から、個人を相手方とする取引所取引で相場の変動により証拠金を超える損失が発生する可能性のある取引については、不招請勧誘が禁止されますが、この取引はあらかじめ決められた水準の損失を限度とすることができる仕組みとなっていますので、不招請勧誘禁止の例外として取り扱われます。



1月4日、大発会のオープニングベルを鳴らす江崎格・東工取代表執行役社長(左)と渡辺好明・東穀取代表取締役社長

③ スパン証拠金制度の導入

我が国の商品先物取引所株式会社日本商品清算機構(JCCH)が投資家の利便性向上を目的にスパン証拠金制度を導入しました。スパンはシカゴ・マーカントイル取引所が開発した、ポートフォリオ全体のリスクを評価する証拠金制度で、デリバティブの世界では国際標準となっています。

④ 東穀取の当社システムの利用開始

1月4日の大発会より、当社のシステムを利用した株式会社東京穀物商品取引所(東穀取)の取引がスタートしました。一つのシステム上で工業品と農産品の両方が取引できるようになったことで、市場参加者のコスト削減や利便性向上が実現され、市場の活性化に寄与するものと期待しています。

大阪証券取引所のバックアップ・センター利用で合意

2010年12月21日、当社は大阪証券取引所(大証)が次期デリバティブ売買システム(J-GATE)向けに構築したバックアップ・センターのスペースの一部を、当社のバックアップ・センターとして利用することで、大証と合意しました。

具体的には、大証のバックアップ・センターのスペースに、当社のバックアップ・システムを設置します。これにより当社単体でバックアップ・センターを構築するよりも、トータルコストを低減させることが可能となります。来年度中の運用開始を目標に準備を進めていく予定です。

台湾最大の先物業者が取引資格取得 台湾のデリバティブ市場は急拡大中

12月16日、台湾最大の先物受託会社である元大フューチャーズ(元大期貨股份有限公司、英文名: Yuanta Futures Co., Ltd、本社: 台北)が当社取引資格を取得しました。台湾企業が当社の取引参加者になるのは同社が初めてです。

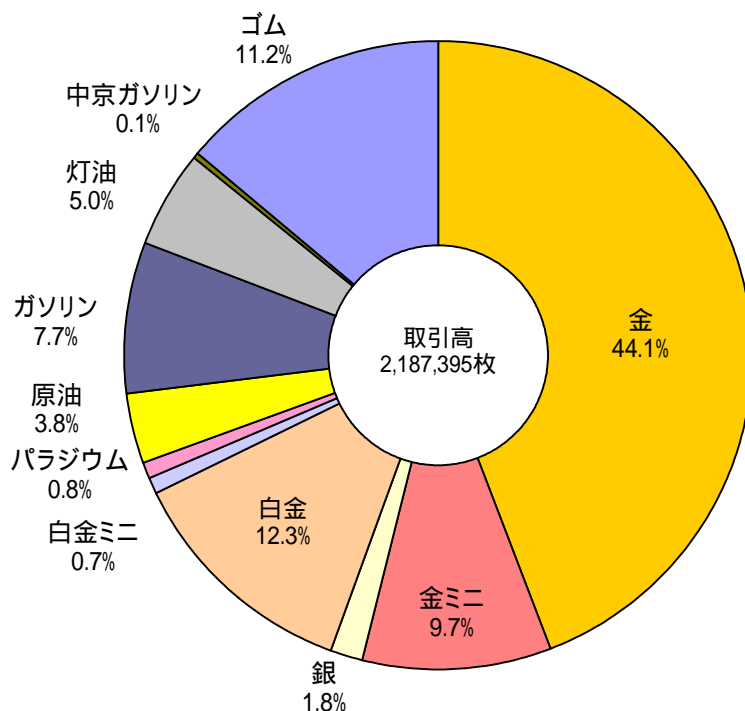
台湾では、近年先物市場が急成長を遂げており、過去10年間に取引高は約70倍に増加しています。その台湾先物市場の参加者は44%以上が個人投資家であるとされ、これら個人投資家向けにファンドの育成も推進されています。こうしたファンドは法律によってリスク分散の観点から海外市場での投資が義務付けられていることもあり、日本との時差が1時間ということもあり、同社を通じた当社市場への潜在的な取引ニーズは高いものと期待しています。

2010年12月 東京工業品取引所 取引高

	月間合計取引高		1日平均取引高			1日平均取引高	
	2010年12月	2010年11月	2010年12月	2010年11月	2009年12月	前月比	前年同月比
金	964,049	1,226,332	45,907	61,317	78,590	74.87%	58.41%
金ミニ	212,989	336,789	10,142	16,839	17,654	60.23%	57.45%
銀	39,505	50,436	1,881	2,522	586	74.60%	321.20%
白金	268,545	326,260	12,788	16,313	14,602	78.39%	87.58%
白金ミニ	15,591	18,644	742	932	1,150	79.64%	64.56%
パラジウム	17,893	22,880	852	1,144	373	74.48%	228.17%
原油	82,286	78,974	3,918	3,949	3,332	99.23%	117.59%
ガソリン	168,560	190,616	8,027	9,531	10,307	84.22%	77.88%
灯油	108,879	107,967	5,185	5,398	4,500	96.04%	115.21%
軽油	1,165	1,077	55	54	-	103.02%	-
中京ガソリン	1,929	3,249	92	162	-	56.54%	-
中京灯油	1,165	1,649	55	82	-	67.28%	-
アルミニウム	0	-	0	-	3	-	-
ゴム	303,447	394,757	14,450	19,738	12,484	73.21%	115.75%
TOCOM NEXT	1,392	2,163	66	108	-	61.29%	-
金打シオン	0	0	0	0	0	-	-
合計	2,187,395	2,761,793	104,162	138,090	143,581	75.43%	72.55%

) 最終決済分を含む

商品別取引高比率



2010年 東京工業品取引所 年間取引高

	年間取引高		前年比	
	2010年	2009年		
金	12,198,340	11,913,502	284,838	2.4%
金ミニ	2,477,688	5,010,476	-2,532,788	-50.5%
銀	236,296	111,775	124,521	111.4%
白金	4,390,452	3,617,988	772,464	21.4%
白金ミニ	308,711	413,310	-104,599	-25.3%
パラジウム	156,946	107,829	49,117	45.6%
原油	943,450	624,307	319,143	51.1%
ガソリン	2,509,734	2,732,376	-222,642	-8.1%
灯油	1,196,729	1,026,529	170,200	16.6%
軽油	4,366	-	n/a	n/a
中京ガソリン	7,800	-	n/a	n/a
中京灯油	3,856	-	n/a	n/a
アルミニウム	280	3,768	-3,488	-92.6%
ゴム	3,130,073	3,320,088	-190,015	-5.7%
TOCOM NEXT	71,646	-	n/a	n/a
金オプション	0	0	0	0
合計	27,636,367	28,881,948	-1,245,581	-4.3%

) 最終決済分を含む

年間取引高の推移

